

## 1. 目的と名称

- ・コミュニケーションクオリティ研究会奨励賞、コミュニケーションクオリティ研究会研究賞、及びコミュニケーションクオリティ研究会功労賞

本研究専門委員会が扱う技術分野における研究開発の発展と促進を目的とし、特に、本研究専門委員会が主催する研究会等の活性化を図ることを狙いとして本選奨を設ける。

## 2. 対象

### (1) コミュニケーションクオリティ研究会奨励賞

本研究専門委員会が主催または共催する第1種研究会で発表された技術報告の中から選定し、その筆頭著者かつ登壇者である者を表彰する。選定の対象となる技術報告は、表彰対象学会年度の5月から4月までに発表された一般講演(口頭発表、ポスター発表、またはそれに準じる発表)とする。なお、他研究専門委員会との共催の場合は、本専門委員会に発表申込みがあった技術報告に限定する。選定される技術報告は、研究の活性化につながる有意義なディスカッションを喚起した、今後の研究の萌芽となる可能性が高いアイデアを提示した、他の研究者へのインパクトが大きかった、コミュニティの拡大に貢献した等の意味において優れたものとする(発表内容が、査読の結果受理される所謂「論文」のように研究として完成している必要は必ずしもない)。選定される技術報告の筆頭著者は講演日時時点で35歳以下とする。

### (2) コミュニケーションクオリティ研究会研究賞

本研究専門委員会が主催または共催する第1種研究会で発表された技術報告の中から選定し、その著者全員を表彰する。選定の対象となる技術報告は、表彰対象学会年度の5月から4月までに発表された一般講演(口頭発表、ポスター発表、またはそれに準じる発表)とする。なお、他研究専門委員会との共催の場合は、本専門委員会に発表申込みがあった技術報告に限定する。選定される技術報告は、コミュニケーションクオリティ研究会研究賞対象のうち、極めて優れていると認められたものとする。

### (3) コミュニケーションクオリティ研究会功労賞

本研究専門委員会が主催または共催する第1種研究会、第2種研究会、国際会議等への参加者およびその運営に関わった者の中から必要に応じて若干名選定し表彰する。選定の対象となる研究会等は、表彰対象学会年度の5月から4月までに開催されたものとする。これらにおいて発表件数大、継続的参加、活発な質疑応答等、顕著かつ積極的な活動を行い、当研究会の発展に著しく貢献したと認められる人物を選定するものとする。本研究専門委員会委員も受賞対象とする。

## 3. 選定方法

### (1) コミュニケーションクオリティ研究会奨励賞

本研究専門委員会委員、委員長、副委員長、顧問、幹事、幹事補佐は、表彰候補技術報告があれば、定型フォーマットに従って推薦する。あるいは、各年の最終研究会開催後に、1年全体を通して表彰候補を選び、推薦理由を付けて推薦する。これら候補に対し、委員長が受賞技術報告を決定する。

### (2) コミュニケーションクオリティ研究会研究賞

本研究専門委員会委員、委員長、副委員長、顧問、幹事、幹事補佐は、表彰候補技術報告があれば、定型フォーマットに従って推薦する。あるいは、各年の最終研究会開催後に、1年全体を通して表彰候補を選び、推薦理由を付けて推薦する。これら候補に対し、委員長が受賞技術報告を決定する。

### (3) コミュニケーションクオリティ研究会功労賞

本研究専門委員会で議論し、委員長が受賞者を決定する。

#### 4. 表彰方法

受賞者全員に対して本研究専門委員会委員長名で賞状及び賞金を贈呈する。表彰は、選定後に本研究専門委員会が主催または共催する第1種研究会にて実施する。

#### 5. 公示

本表彰を行なった場合には、受賞者の氏名や業績の内容等を本研究専門委員会ホームページ上に掲載する。

以上